

大田南畝「銅座御用留」

佐備後守様

大田直次郎

御切紙拝見仕候、然は水野若狭守殿妾腹、御男子御出生に付、昨廿二日より来廿八日迄、御産穢被成御座候由、御紙上の趣承知仕候。右御請迄如此御座候。以上

十月廿三日

猶以、御普請役へは私より可相達旨、是又承知仕候、已上、

酉十一月六日

一

堺中浜老丁目

鳶金屋

宇兵衛

其方儀、鳶金屋小次郎父佐兵衛当正月二日致病死候処、小次郎は幼少に付商売向致世話遣、月々銅座より買請候吹銅の儀、佐兵衛病死の断も不致、同人名前を以当正月より十月迄其俣銅買下候段不埒に候へ共、佐兵衛方商売悴相続いたし候上は、銅買下候義は不苦